

関東ふれあいの道 東京都⑦「山草のみち」(会山行)

(報告) SM

◎ 期日：2024年3月3日(日)

◎ メンバー：FY(L)、FT、KM、IK、SM、会員外1名

今回で関東ふれあいの道(東京編全7コース)最後の「山草のみち」に到達する。山草のみちは埼玉県
の棒ノ折山から奥多摩の岩茸石山、惣岳山を経て御嶽駅へ下る13.1kmのコースになります。

奥多摩の川井駅からバスで20分程の終点清東橋で下車する。春まだ浅い冬枯れの静かなキャンプ場の
百軒茶屋を過ぎ奥茶屋に着けばいよいよ棒ノ折山への登山道です。フェンスに囲まれたワサビ田の一人歩
くのがやっとの細い道を何度も沢を渡りながら縫うように進むと「黒山2.1km・棒ノ折山0.9km」の道標
と小さな祠に到着する。良く見ると誰が置いたか祠の傍らに得体の知れない動物の頭蓋骨が鎮座している。
祠を境にいよいよ丸太の階段が続く急登の始まりでした。(ガイドマップによると500段の丸太の階段と
書いてありました。)階段と木の根の絡まった急登を喘ぎあえぎ登りつめて広～い山頂(969m)へ到着
です。晴れわたった青空の展望は開放感で心地良く、ちょっと長すぎた昼食になりました。



山頂を後に 10 分ほどで権次入峠(ゴンジリ峠)へ。ここは埼玉県編名栗湖から上がってくる「水源のみち」と重なる峠です。先を急いで黒岳、岩茸石山、惣岳山へ向けアップダウン多々ありの尾根歩きが続きます。何処の山に登っていても山頂まで 0.1 km とかの道標にほっとするも、その 100m のなんと長いことか中々たどり着かなく気持ちが折れそうになることは何時ものこと。今日も同じように・・・でも天気は最高！岩茸石山からの展望は疲れを忘れるほどです。そして惣岳山にひっそりとたたずむ青渭神社を後に杉林をジグザグとひたすら下り、木々の間から御嶽の街並みがチラホラと見えて一安心と元気復活します。これで東京編完結となりました。



《コースタイム》

青東橋 9:50～奥茶屋(棒ノ折山登山口) 10:00～
祠 10:40～棒ノ折山 11:30～12:20～ゴンジリ
峠 12:30～黒山 12:55～13:25～岩茸石山 15:
00～15:20～惣岳山 15:50～御嶽駅 17:20

